

27	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15106014	天然メタンハイドレートの最適生産・輸送・貯蔵方式に関する研究	鈴木 英之(東京大学・大学院工学系研究科・教授)	B
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、エネルギー資源として期待されながら回収法が未だ確立されない天然メタンハイドレートの開発を目指し、その生産・輸送・貯蔵方式について採算性を指標に総合的に検討し、提案を行おうとするものである。システムの最適化の立場から生産・輸送・貯蔵の全体システムについて課題や論点が明確にされるとともに、その個別課題の解決に必要な要素技術や知識について研究が進展するならば、その意義は大きいといえる。</p> <p>メタンハイドレート資源の開発は、その基盤として、生産・輸送・貯蔵のどの分野についても独創的で先駆的な研究成果を必要とするが、本研究においてこれまでに得られた成果については、この意味での高度な研究とは言いがたいところがある。波及性が大きく、牽引車となる先駆的な成果が切に求められている分野であることを考えると、海洋工学と化学工学の分野の研究者・院生が結束を強め、焦点を絞った課題について独創的で先駆的な成果を狙った研究の遂行が望まれる。今後一層の努力が必要であると判断される。</p>				
28	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	15106015	原子炉圧力容器鋼中の照射誘起ナノ析出物および欠陥の形成・発達過程の解明と制御	長谷川 雅幸(東北大学・金属材料研究所・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>日本原子力発電東海1号炉と稼働中の Doel-2 号炉 (ベルギー) から実機監視試験片を入手し、陽電子ドット現象と3次元アトムプローブを使って、鋼中銅のナノ析出を分析しており、高経年原子炉の安全性確保に重要な、圧力容器の照射脆化に関する、貴重な研究を行っている。</p>				